

授 業 目 名	小児聴覚障害学I		授 業 形 態	講 義
			配 当 学 期	1年(前期)
担 当 教 員 名	足立 健太		単 位 数	1単位
			時 間 数	30時間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 聴覚障害は「見えない障害」と言われており、まず発見することがスタートになります。この点をベースに、小児の聴覚障害に関する様々な問題を取りあげます。さらに、聴覚障害が発見された場合の訓練の方向性についても講義します。</p> <p>〔学習目標〕 小児の聴覚障害に関する基礎知識を得ることを目標とします。特に、聴覚障害を発見し、補聴機器を装着させ、訓練を行うことが、脳の発達に結び付くことの理解が重要です。</p>			
授 業 回 数	授 業 の 内 容			
第 1 回	コミュニケーションとは(基本・スピーチチェーン)			
第 2 回	難聴の疑似体験			
第 3 回	新生児聴覚障害のハイリスク因子、新生児聴覚スクリーニングについて			
第 4 回	音圧とデシベルについて			
第 5 回	ヘレンケラー			
第 6 回	原始反射・検査について			
第 7 回	先天性難聴について			
第 8 回	難聴児への初期介入について			
第 9 回	指文字・手話			
第 10 回	指文字・手話			
第 11 回	聴覚学習について①			
第 12 回	聴覚学習について②			
第 13 回	聴覚障害の程度等級について			
第 14 回	視覚聴覚二重障害について			
第 15 回	まとめ			
評 価 方 法	定期試験(100%)			
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第3版 医学書院 〔参考図書〕 配布資料			
履 修 上 の 留 意 点				
メ ッ セ ー ジ	聴覚障害についての基本的な内容です。成人のSTを志望する学生も、しっかり勉強してください。			